

2022年度

上宮高等学校

入学検査問題

国語

- (注意) ① 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
② 字数の指定がある設問は、カッコや句読点もすべて一字に数えること。

受験番号	名前

— 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

世間の評価と自分の満足感は一致して当然。

僕もそう考えていた時期がある。だから、メダルがすべてだと思っていた。メダルを手に入れると収入が増え、女性からもモテて、メディアからもひっぱりだこ……そんなイメージを持っていた。つまりは世間的な「幸せ」や「成功」へのライセンスが、メダルを手にすることだと思いつ込んでいたのだ。

A、メダルを取って見たら違っていた。人間は慣れるものだ。「いつまでちやほやしてくれるのか」ということを考え始めると、今の状態がそれほどいいとは思えなくなってくる。メダルを取った高揚感は、不安で打ち消されてプラスマイナスゼロとなる。

B、普通の状態である。

「それが普通なんて、贅沢だ」と言う人も多かった。他人に羨ましいと言ってもらえる間は、なんとなく幸福なのかなという気もする。しかし、いつまでも人が褒めてくれるわけではない。だんだん冷静になっていくにつれて、いろいろなものが見えてくる。

注 僕が取ったのは銅メダルだった。世の中には金メダルを取っている人もいる。銅メダルで有頂天になることに意味はない。そもそもメダルなど取らなくても、金持ちになっている人や女性にモテる人なんかいくらでもいる。

⑤ では、金メダルを取ったらもっと幸せになれるのだろうかと考えてみた。

たぶん、違うなと思った。金メダルを取ったら取ったで、また同じようなループに入っていくのだろうかということは容易に想像できた。この状態は、誰かに褒められ続けていないと自分が成し上げたことが確認できない「依存症」のようなものである。

C、どういう状態が幸せなのだろうと考えてみた。

「あのへんが幸せだ」

「あそこまでトウタツすれば幸福になれる」

他人由来の幸福は、つまり移ろいやすい世の中の評価の中心に振り回され続けることになる。そして未来にゆだねた幸福は、ずっと追いついてくれない。思えば慣れてしまい、もつともつとと加速する。幸福は外や先になく、今ここにしかない。

何でもかんでも手当たりしだいに手に入れることで、幸福が得られるわけではない。

むしろ、ある段階がきたら「もうこれはいらぬ」と手放していくことで、幸福が近づいてくるのではないだろうか。最近の僕はそんなふう思うようになった。

「何も諦めたくない」という姿勢で生きている人たちは、どこか悲愴^{ひそう}である。

仕事も諦めない、家庭も諦めない、^e自分らしさも諦めない。なぜなら幸せになりたいから。でも、こうしたスタンスがかえって幸せを遠ざける原因に見えてしまう。むしろ、何か一つだけ諦めないことをしっかりと決めて、残りのことはどっちでもいいやと割り切ったほうが、幸福感が実感できるような気がする。

賛否両論あると思うが、突き詰めていけば仕事と家庭は^⑩トレードオフだ。一日の時間は限られていて、仕事と家庭に同じ時間を^⑪割くことは無理である。遅くまで残業したり、休日も返上して出勤したとしたら、今流行の「育メン」^⑫になることはできない。仕事をどこかで割り切らないと、責任を持ったかたちで子育てにかかわることはできないのだ。

現に、働く女性はそうやって仕事と育児を必死で両立させようとしてきたが、その過程で多くの犠牲を^f払ってきたのだと思う。仕事も諦めない、子育ても諦めない……そうやっている、どこかで行き詰まるものだ。

どちらかを完全に諦めると言っているわけではない。ただ「今自分はどちらを優先したいと思っているのか」ということを自覚していないと、^④自分に対する不満ばかりがたまっていく。

「仕事もしたいのにできていない」

「子育てにもきちんと^⑧取り組みたいのにできていない」

あれも、これも手に入れたいという^⑦ハッソウの行き着く先は、つねに「できていない」「足りていない」という不満になってしまう。

現代は生き方、働き方にも多様な選択肢がある時代だ。それはとてもいいことだが、すべてを選べるということではない。

D、多様な選択肢を持つことにはメリットもある。ただ、一方では選択肢がありすぎて選べないデメリットもある。それを考えると、メリットばかりを強調することは、自分の軸を見誤らせる危険性を高めていく。

僕は手放したものの数で成功を測ったほうがいいと感じている。そして、何かを手放すためにはある程度の経験を積まなければならない。

Xに聞こえるかもしれないが、人間にとっての軸^⑤というものは、^⑤たくさんものを見ることで形成される。昔であれば、^⑥歳を取っていくことと軸ができていくことが時間的に一致していた。だが、今の世の中は情報が与えられすぎていて、軸ができていない段階で突然多様な選択肢を見せられる。

^⑥若い親にとっては、子どもの可能性も無限に広がっているように見えるだろう。

「この子は音楽家になるかもしれない」

「勉強ができるから学者になるかもしれない」

「金メダルを取れるかもしれない」

夢を見るのは自由だが、これらが実現する可能性はきわめて低い。子どもは意思すらない段階で実現可能性の低い夢に向かって努力をさせられることになり、これはかなりきつい人生のスタートになると思う。

^(注)北野武さんが、あるインタビューでこんな話をしていた。

子どものころ、武さんが何かになりたいと言ったとき、武さんのお母さんがこう言ったそうだ。

「バカヤロー。おまえがなれるわけないだろ！」

武さんは、お母さんのことを「ひどいことを言う母親だろ？」と言わず、⁽⁷⁾「そういう優しい時代もあつたんだよ」と言った。

何にでもなれるという無限の可能性を前提にすると、その可能性をかたちにするのは本人（もしくは親）の努力次第といった話になってしまう。しかし「おまえはそんなものにはなれない」という前提であれば、たとえ本当に何者にもなれなくても、誰からも⁽⁸⁾せめられない。もしひとかどの人間になれたら、「立派だ、よくやったな」と褒められる。武さんは、それを「優しさ」と言ったのではないだろうか。

僕の母親は、僕が何か新しいことをやろうとすると、今でもよくこういいうい方をする。

「広島の田舎から出ていって、東京のど真ん中でなんて大それたこと^(b)を」

この言葉は⁽⁹⁾キョウウギ人生を送るうえで、今でも、僕をすごく楽にしてくれる。期待値が低ければ低いほど、自由にチャレンジできる気がするからだ。僕は「何にでもなれる」「何でもできる」という考え方には息苦しさを覚える。

本当は、何にでもなれる人なんていないはずだ。しかし、誰もが^(Y)には何者かになっている。それを「何にでもなれる」から出発すると、何かすごいものにならなくてはいけないような気になってしまう。すると、すでに「何者か」になれている自分を、^(h)きちんと認めてあげることができなくなる。だからといって「きみはオンリーワンだから」という話でもないと思う。

自分をほかの誰とも比べることなく「オンリーワン」などと言っているのは、単なる自己満足にすぎない。そもそも自分の特徴が何であるのかすら、他人との比較がなければわからない。まずは「自分はこの程度」と見極めることから始め、自分は「何にでもなれる」という考えから卒業することだ。そこから「何かになる」第一歩を踏み出せるのではないだろうか。

(為末 大 『諦める力』による)

⑨ 僕が取ったのは銅メダルだった。…筆者は二〇〇一年エドモントン世界選手権の男子四〇〇mハードルで、日本人初の銅メダルを獲得。二〇〇五年世界選手権ではプロ陸上選手として出場し、再び銅メダルを獲得した。

トレードオフ …何かを得ると、別の何かを失う、相容れない関係。

育メン …育児休暇を取得したり、育児のサークルなどに参加したり、子育てを積極的に行おうとする男性。

北野武さん …日本のお笑いタレント、映画監督、俳優、司会者。

問一 ——— 線部ア①②の、カタカナは漢字に直し、漢字はその読みをひらがなで、それぞれ答えなさい。

問二 ——— 線部a①②の語の品詞名を、次のア～コの中からそれぞれ一つずつ選んで、記号で答えなさい。

ア 動詞 イ 形容詞 ウ 形容動詞 エ 名詞 オ 副詞

カ 連体詞 キ 接続詞 ク 感動詞 ケ 助動詞 コ 助詞

問三 空欄 A A Dに入る最も適当な語句を、次のア～オの中からそれぞれ一つずつ選んで、記号で答えなさい。

ア 例えば イ 確かに ウ しかし エ さらに オ つまり

問四 ——— 線部(a)・(b)の文中での意味として最も適当なものを、次のア～オの中からそれぞれ一つずつ選んで、記号で答えなさい。

- (a) ひっぱりだこ
- | | |
|---|-------------------|
| ア | すべて同じ反応をされること |
| イ | あらゆるものが提供されること |
| ウ | 一つの企画に何度も呼ばれること |
| エ | 多くの誘いや働きかけを受けること |
| オ | 様々な指示を受けてあやつられること |

- (b) 大それたこと
- | | |
|---|----------|
| ア | ありえないこと |
| イ | この上ないこと |
| ウ | そつのないこと |
| エ | つまらないこと |
| オ | とんでもないこと |

問五 ——— 線部①「同じようなループ」とは、どういうことですか。それを説明した次の文の空欄Ⅰ・Ⅱ・Ⅲに当てはまる語句を、それぞれ指定された字数で文中から抜き出して答えなさい。

最初はメダルを取った **Ⅰ 三字** で冷静な判断ができずに「自分は **Ⅱ 二字** した幸せな人間だ。」と思えるが、徐々に周囲に認められなくなるのではという **Ⅲ 二字** な気持ちが増して、スタートの状態に戻ってしまうこと。

問六 ——— 線部②「移ろいやすい世の中の評価の中心に振り回され続けることになる」とありますが、こうなってしまうのはなぜですか。それを説明した次の文の空欄に当てはまる語句を文中から **十九字** で抜き出して答えなさい。

多くの人が という考えをしてしまいがちだから。

問七 —— 線部③「幸福は外や先になく、今ここにしかない」とありますが、幸福を感じるために大切なことは何だと筆者は考えていますか。文中の語句を使って、四十字以内で説明しなさい。

問八 —— 線部④「自分に対する不満ばかりがたまっていく」とありますが、そうなる原因として最も適当なものを、次のア～オの中から一つ選んで、記号で答えなさい。

- ア 仕事と育児を両立させているのに、自己実現ができていないと感ずること。
- イ すべてに完璧を求めすぎて、どれもが中途半端になっていると感ずること。
- ウ 多くの犠牲を払ってやってきたことが、評価の対象にならないと感ずること。
- エ 選択肢が少なすぎて、好きなことを自分が選んで精一杯やれないと感ずること。
- オ 自分の今すべきことが何か分からず、何事にもやる気が起きないと感ずること。

問九 空欄 X・Y に入る語句として最も適当なものを、次のア～オの中からそれぞれ一つずつ選んで、記号で答えなさい。

- ア 意識的 イ 感ず的 ウ 逆説的 エ 希望的 オ 結果的

問十 —— 線部⑤「たくさんのものを見る」とは、どうすることだと筆者は述べていますか。適当なものを、次のア～オの中から二つ選んで、記号で答えなさい。

- ア 適度な経験を積むこと。
- イ 複数の選択肢を選ぶこと。
- ウ 手放したものの数を数えること。
- エ スケールの大きな夢を持つこと。
- オ 他者との比較で自分を見極めること。

問十一 —— 線部⑥「若い親にとつては、子どもの可能性も無限に広がっているように見える」とありますが、それが原因で子どもに起こり得ることは何ですか。解答欄に合うように、文中から三十一字で抜き出して、初めと終わりの三字を答えなさい。

問十二——線部⑦「そういう優しい時代もあったんだよ」とありますが、この発言の意図を筆者はどのように受け止めましたか。それを説明したものととして最も適当なものを、次のア～オの中から一つ選んで、記号で答えなさい。

ア 親が子どもに全く関心を持たず突き放すことで、子どもの自立心が芽生えて一生懸命頑張ることになり、その子の持った無限の可能性を最大限に伸ばそうとしていたということ伝える意図があったと受け止めた。

イ 夢を追いかけることが現実的でないということをさりげなく教えることで、親と同じような職業を選ぶように導いて、誰からも非難されない人生を歩ませようとしていたということ伝える意図があったと受け止めた。

ウ 何か新しいことをやろうとしている子どもに対して本当は期待感が大きくなっているが、あえて辛くあたり続けることで、威厳ある親として子どもを教育しようとしていたということ伝える意図があったと受け止めた。

エ 親が子にさほど期待していないという姿勢を見せることで、何者かにならねばならないというプレッシャーから子どもが解放され、結果的に我が子を温かく見守ろうとしていたということ伝える意図があったと受け止めた。

オ 実現不可能な夢に向かおうとしている子どもの将来を案じている親が、子どもに対して地道に努力することの大切さを訴えかけることで、子どもを世間の荒波から守ろうとしていたということ伝える意図があったと受け止めた。

問十三 本文の内容に一致するものを、次のア～クの中から二つ選んで、記号で答えなさい。

ア 筆者は銅メダルで満足する生き方より、より高みを目指して努力し続ける生き方を選んだ。

イ 仕事と家庭は完全な形での両立は難しく、優先順位をつけないと行き詰まってしまう。

ウ 女性が社会進出する時代において、仕事と育児を両立させることが世間の常識となった。

エ 現代は働き方に多様な選択肢があり、そのことにはデメリットよりも多くのメリットがある。

オ 努力して何者かになるためには、本人の努力だけではなく親のバックアップも必要である。

カ 親が常に子どもを褒めていると、子どもの自己肯定感が高まり期待どおりの子に育つ。

キ 筆者の母親は筆者に期待する言葉をかけなかったが、かえってそれが筆者の挑戦を後押しした。

ク 何にでもなれるという前向きな気持ちをしっかりと持てば、息苦しさを覚えることはない。

二 次の1～5の七文字の漢字を使って二つの四字熟語を作ろうとすると、二回使わなければならない漢字が一つあります。その漢字を答えなさい。

例 耳・西・馬・東・今・風・古

「馬耳東風」・「古今東西」の二つの四字熟語を作ることができる。↓(答え) 東

1 専・意・得・拳・両・心・一

2 進・故・温・新・鋭・知・気

3 巧・朝・言・暮・色・改・令

4 尽・網・縦・無・一・横・打

5 意・到・深・用・味・長・周

三 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

信濃しなのの国（現在の長野県）の守かみ（長官）藤原陳忠せむしろのちむただが、任期を終えて帰京することになった。その帰り道で守の乗った馬はかけ橋を踏み折り、守は馬もろとも谷底に転落してしまふ。慌てた家来たちが谷底をのぞくと、底から「旅籠はたご（旅行の荷物を入れるかご）に縄をつけて降ろせ」と、守は叫んでいた。家来たちは言われるがまま旅籠を降ろして引き上げると、旅籠には平茸ひらたけ（キノコ）が山盛り載っていた。もう一度旅籠を降ろすと、今度は守が平茸を握りしめながら上がってきた。

引き上げつれば、懸け橋の上にすゑて、^⑦郎等ども喜び合ひて、「そもそもこれはなにぞの平茸にか候ふぞ」と問へば、守の答ふるやう、「落ち入りつる時に、馬はとく底に落ち入りつるに、われは遅れてふめき落ち行きつるほどに、木の枝のしげくさし合ひたる上に、不意に落ちかかりつれば、
一氣に
転がり
家来たち
この平茸はどういふものでございませうか

その木の枝をとらへて下りつるに、下に大きな木の枝のさへつれば、それを踏まへて大きな股の枝に取りつきて、それを抱かへてとどまりたりつるに、^①その木に平茸の多く生ひたりつれば、見捨てがたくて、まづ手の及びつる限り取りて、旅籠に入れて上げつるなり。いまだ残りやありつらむ。^②言はむかたなく多かりつるものかな。いみじき損を取りつるものかな。いみじき損を取りつる心地こそすれ」と言へば、郎等ども、げに御損に
たいそう
本當に

候ふなど言ひて、その時にぞ集まりて、さと笑ひにけり。
どっと笑った。

守、「^aひがことな言ひそ、^①なんぢらよ。宝の山に入りて、^b手を空しくして帰りたらむ心地ぞする。『受領は倒るる所に土をつかめ』とこそ言へ」と言へば、^③長だちたる御目代、おほんもんだい心の内には、「いみじくにくし」と思へども、「げにしか候ふことなり。たよりに候はむものをば、いかでか取らせ
年配の
代官が
そのとおりでございませう。手近にありますものを、どうしてお取りになり

諸国の長官

と

給はざらむ。誰に候ふとも、取らで候ふべきにあらず。もとより御心賢くおはします人は、かかる死ぬべきはみにも、御心を騒がさずして、よろないでしようか。 ④
取らないはずは 瞬間

づのことをみなただなる時のごとく、用ひつかはせ給ふことに候へば、騒がずかく取らせ給ひたるなり。されば国の政 まつりごと をもいこへ、物をもよく ⑤
処理しなざる方ですので 心静かにこのように平草を取りなされたのです。
落ち度なく、税も順調に

納めさせ給ひて、御思ひのごとくにて上らせ給へば、国の人は父母のやうに恋ひ惜しみ奉るなり。されば、末にも万歳千秋おはしますべきなり。な ⑥
収納しなま 願いどおり帰京しなされるのですから
行く末も、永遠にめでたくいらっしやいます

と言ひてぞ、忍びておのれらがどち笑ひける。

こっそり 仲間同士で

これを思ふに、さばかりのことにあひて、肝・心を惑はさずしてまづ平草を取りて上げけむ心こそ、いとむくつけけれ。まして、便宜あらむもの ⑤

恐ろしいことだ

在職中、取れるものは

など取りけむことこそ、思ひやられる。

なんでも取っただらうということは、自然と想像される。

これを聞きける人、いかににくみ笑ひけむ、となむ語り伝へたとや。 ⑥

問一 —— 線部ア～エの語句を現代仮名遣いに直して、平仮名で答えなさい。

問二 —— 線部(a)～(c)の語句の文中での意味として最も適当なものを、次のア～オの中からそれぞれ一つずつ選んで、記号で答えなさい。

(a) ひがことな言ひそ

- ア 泣き言を言うな
- イ 笑い声をたてるな
- ウ おおげさにほめるな
- エ 勘違いしたことを言うな
- オ つまらないことを言わせるな

(b) 手を空しくして

- ア 手ぶらで
- イ 手が動かせず
- ウ 手持ちぶさたで
- エ 次の手がなくて
- オ 手を突き上げて

(c) ただなる時

- ア 無くなった時
- イ 退屈に感じた時
- ウ 普段と変わらない時
- エ 身の危険を覚えた時
- オ よくないことが起きた時

問三 —— 線部①「その木に平茸の多く生ひたりつれば、見捨てがたくて」とあることから、陳忠は多く生えている平茸をどのようなものだと考えていますか。文中から三字で抜き出して答えなさい。

問四——線部②「言はむかたなく多かりつるものかな」の解釈として最も適当なものを、次のア～オの中から一つ選んで、記号で答えなさい。

ア 言うまでもなく、たくさん取ってきていたぞ

イ 何も言われなくても、たくさんあつたんだぞ

ウ 何とも言い表せないぐらい、たくさん取ったなあ

エ 何とも言いようがないほど、たくさんあつたなあ

オ 何も言う者がいなかったら、たくさん取ったのになあ

問五——線部③「長だちたる御目代」とありますが、この人物の心理についての説明として最も適当なものを、次のア～オの中から一つ選んで、記号で答えなさい。

ア 心の底では陳忠のことを憎んでいるが、国を治める力だけは評価に値すると思っている。

イ 心の底では陳忠のことを尊敬しているが、これ以上仕えることはできないと思っている。

ウ 心の底では陳忠のことを嫌っているが、とっさの機転には感心せざるを得ないと思っている。

エ 心の底では陳忠のことを気に入っているが、あからさまに同意するのは白々しいと思っている。

オ 心の底では陳忠のことを馬鹿にしているが、うわべだけは大げさにほめておこうと思っている。

問六——線部④「もとより御心賢くおはします人」は誰を指していますか。次のア～エの中から一つ選んで、記号で答えなさい。

ア 郎等 イ 守 ウ 御目代 エ 国の人

問七——線部⑤「便宜あらむものなど取りけむことこそ、思ひやられるれ」と筆者が思ったのはなぜですか。解答欄に合うように守の発言から二十文字以内で抜き出して答えなさい。

問八 —— 線部⑥「これを聞きける人、いかににくみ笑ひけむ」とありますが、これを説明したものととして最も適当なものを、次のア～オの中から一つ選んで、記号で答えなさい。

- ア 陳忠の一件を聞いた人たちは、彼のむごたらしさにあきれ果て、全く笑えなかった。
- イ 陳忠の一件を聞いた人たちは、彼の財力をねたみ、自らの現状を笑うしかなかった。
- ウ 陳忠の一件を聞いた人たちは、彼のしぶとくて強欲なふるまいを、あざけり笑った。
- エ 陳忠の一件を聞いた人たちは、彼の楽観的な考え方に不安を抱いて、顔がひきつった。
- オ 陳忠の一件を聞いた人たちは、彼の行動には腹を立てたが、命が助かったことを喜んだ。

問九 この文章には、「」が抜けているところが一ヶ所あります。その部分を文中から七字で抜き出して答えなさい。

問十 この作品は平安時代末期ごろに成立したとされていますが、これより後の時代に成立した作品を、次のア～オの中から一つ選んで、記号で答えなさい。

- ア 枕草子
- イ 古事記
- ウ 竹取物語
- エ 源氏物語
- オ 平家物語